

## 令和3年度 岐阜県立海津明誠高等学校 学校運営協議会 会議報告書

- 1 会議名 岐阜県立海津明誠高等学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和3年6月8日（火）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者 水谷 初代（更生保護女性会高須地区支部長）  
伊藤 久（サンリバーはつらつ事務長）  
森 元則（海津市商工会副会長）  
宮脇 和義（JAにしみの海津区域統括グループ長）  
渡辺 博邦（株式会社渡辺組 代表取締役）  
杉野 照美（岐阜県公立幼稚園等新規採用教員研修指導員）  
安立 正春（同窓会副幹事長）  
松林 正洋（PTA会長）

### 5 会議の概要

(1) 令和3年度学校経営計画（高等学校版マニフェスト）及び年間行事計画等について

(2) 令和2年度学校経営計画の承認について

(3) 委員からの主な意見・要望等

<学校運営全般について>

意見1：マニフェストに数々の重要事項が盛り込まれており、大変よい。現在SDGsが掲げられて地球規模で達成に向けて取り組まれている中、学校でもこれを意識して、生徒を巻き込んで進んでほしい。

意見2：コロナ禍において対応が次々と変化する中での教育の在り方、学習方法がどんどん変わりつつある。先生方の尽力に頭が下がる。

意見3：コロナ禍での学校運営に対して苦勞していることと思うが、尽力に感謝している。

意見4：コロナ禍での感染症対策やリモートによる学習指導の強化を図ってもらいたい。

<生徒指導>

意見1：生徒たちの心や体の変化を見逃さず、高校生である今学ぶことの大切さを生徒たちに伝えてほしい。

意見2：本校生徒はとても気持ちの良い挨拶ができる。

意見3：校内ではしっかりと挨拶してもらえるが、校外ではやや少ない。

<進路指導>

意見1：困難な時代中でも生きていく道を探すべく、指導してもらえればと思う。

意見2：生徒一人一人の希望に寄り添った進路指導をお願いしたい。

<学習指導>

意見1：学習方法が、対面からリモートへとかなり変わってきた。対面とリモートのそれぞれの良さを生かして次へのステップにつながればと思う。

<その他>

意見1：「地域の大人で子供を育てよう」をモットーにした会の一員として地道な声掛け活動をしている。毎朝同じ場所に立っているが、背を向けていても挨拶をしていく生徒がほとんどで、朝から元気をもらっている。

意見2：保護者としては、重要な連絡は文書とメール等を活用して保護者に確実に伝わるようにしてほしい。

意見3：海津市の唯一の高校なので、海津市内の小中学生や高齢者との交流等を増やしてほしい。

### 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の学校経営計画及びマニフェストについて全委員からの承認が得られた。

今回得られた意見を参考に、今後の学校運営に活かしていきたい。